

丹波縄文の森塾 活動報告

令和6年7月27日（土） 晴



縄文時代について



滋賀県からNPO法人ちゃいれじの鈴木康二さんと陶芸家の宮本ルリ子さんを講師に招いて、縄文土器作りに挑戦しました。



鈴木さんからは、「縄文時代のくらしと土器作り」の話を聞きました。少し専門的な内容もある講義でしたが、わかりやすいようにクイズ形式で進めていただいたので、縄文時代と縄文土器についての理解がとても深まりました。

縄文土器作り（１）



縄文時代について知ったところで、宮本さんに土器の作り方を教えていただきました。まずホオノキの葉っぱの上に粘土を置き、土器の底をまるく作ります。つぎに粘土を転がしながら伸ばして、ひも状にしたものを輪にして底につけて積み上げていきます。



縄文土器作り（２）



すき間を指で押さえてつめていき、土器の形ができたなら、竹ベラなどを使って文様をつけます。縄の文様をつけたり、穴をあけてみたり、いろいろな工夫をした土器ができあがりしました。早くできあがった人の中には、土偶を作ってみたり、土鈴を作ったりしてみた人もありました。

きょうの昼食は、ハヤシライスとフルーツポンチでした。午前中、土器作りに集中してお腹ペコペコ。きょうもおいしい昼食で、みんな残さずいただき完食でした。



乾燥中の土器



きょう作った土器は、約4ヶ月倉庫で乾燥させてから11月23日に野焼きを行い、24日に取り出す予定です。どんな縄文土器ができあがるのか楽しみです。

